



エコトピア

第11号

Contents

- 1・・・湖東地域環境シンポジウム開催「ツバメのくらしとまわりの自然」
- 1・・・湖東の生き物の仲間
- 2・・・お知らせ
- 2・・・団体活動報告

湖東地域環境シンポジウム 「ツバメのくらしとまわりの自然」を開催しました

湖東地域環境シンポジウムを、平成19年11月11日にviva city彦根の2階研修室にて開催しました。

■つばめラボ表彰式

大賞、つばめラボ賞、特別賞の入賞者5名が表彰されました。みんなとても力作ぞろいでした。ツバメの巣を毎日観察しておもしろいことを発見した人や、実際にツバメを触ってみた人もいました。それぞれにツバメを通していろいろなことを感じられたようです。表彰式では、とても嬉しそうに表彰されていたのが印象的でした。



▶ 表彰式の写真

■ツバメのお話

ツバメのお話は、日本野鳥の会滋賀支部の植田潤さんを講師にお招きしました。ツバメの観察のコツや面白さを楽しくお話いただきました。ツバメの種類やツバメがどこから飛んでくるのかの説明がありました。また、ツバメと密着した生活をしている人のエピソードの紹介もありました。お話が終わった後、参加者からたくさんの質問があり、ツバメに関心をもって興味深く話を聞いてくださった方が多かったと感じました。来年度もひきつづき「つばめラボ」を行いますので、ぜひツバメの観察をしてみてください。



◀ 植田潤さん
「ツバメの声を聞くとどんなことを話しているのか分かるよ！」
「え〜！！」
と、ざわめきが起きます

■体験コーナー

- ・ミニソーラーカーをつくろう
- ・廃食油から
 ロウソクをつくろう
- ・折り紙に挑戦！
 (ツバメ・ひこにゃんなど)

シンポジウムのために足を運んでくださった人、たまたま近くを通った人などが参加してくださいました。廃油からロウソクをつくったり、ひこにゃんの折り紙を折ったりしました。「あまり環境のことなどを考えることはないけれど、これを機会に少し関心を持たた」という声を聞くことができました。

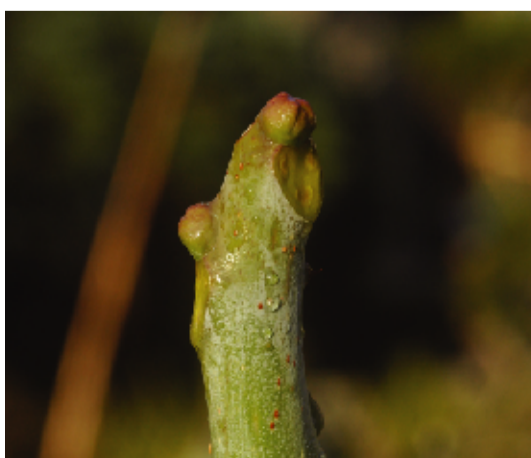


■ブース展示

平成19年11月8日(水)～14日(水)にviva city彦根 1階センターモールにてブース展示を行いました。湖東地域で環境に関わる活動している団体の活動報告などが展示されました。人通りが多く、お買い物の際に立ち止まって見てくださっている人がたくさんいました。普段わざわざ足を運ばない人にも興味を持っていただくきっかけになったのではないかと思います。



湖東の生き物の仲間



カラスザンショウの冬芽 カラスザンショウ (ミカン科)

独特な傘状の樹形をつくり高さ10～15mにもなる落葉高木。種子をカラスが好んで食べるのでこの名がついた。落下した葉柄の跡はユニークなおサル顔に見えませんか。冬芽はこの葉痕の形のすぐ上に必ずできています。



ヨシガモ

カモ目 カモ科

冬鳥。湖沼、河川、内湾などで見られます。雄の頭は、茶色と緑色でナポレオンのような帽子のような形をしています。日中は水面やアシ原で休息し、夕方になると水田や湖沼、河川の岸辺でイネ科植物の種子などを食べます。なかなか見られる機会が少なく、見つけると今日はラッキーと思ってしまふカモの仲間です。